



大野 徹行 議員

判りやすい
事前情報を

問 コロナ禍に於いて自然災害での避難をしなくてはならない場合が生じたときの避難所対策はどのように計画しているか。

答 地域支援課長 可能な限り多くの避難所の開設、親戚や知人宅へ避難の検討、一時的な避難の場合、各施設の駐車場やグラウンドにおいて自家用車内にて待機すること。車のない方は避難所にて、十分な換気とスペースの確保に努めての避難をしていただく。

自然災害時のコロナ対策避難所について

答 早期に親戚・知人宅へ避難すること

再問 多くの町民は3密対策が心配で避難所に行こうという気持ちにならないと思う。対策が講じてあれば安心して避難所に行く気持ちになる。どの様に事前広報を計画されているか。

再答 地域支援課長 ホームページ・町広報・チラシ等でお知らせする。

再問 避難所の場合、病院でも実施している体温測定を入り口で行う必要がある。それが避難者への安心材料になる。担当者を決めておく事が求められるが。

再答 地域支援課長 現時点では誰が何処の担当とは決められない。色々な想定が必要であり、補正予算で避難所対策費を600万円確保した。議会の承認が得られれば即検討に入る。

再問 車でのグラウンドへの避難の場合、学校の許可が必要と思う。もっと気楽に避難できる庁舎の裏側等で風が避けられる場所も候補に入れるべきではないか。



入口にて体温測定 五十嵐晃氏作画 (志賀在住)



川口 浩史 議員

日本一を言いたい
しつこいことね

問 新型コロナの影響で収入が減り学費が払えず学業の断念を考えている学生が多数いるという。本町の学生は一人もこのような理由でやめることがないよう返済不要の給付金を支給するべきではないか。

答 教育委員会事務局 長 嵐山町奨学金の対応を考えているが返済不要の給付金は考えていない。

再問 奨学金では返済しなればならず、新たな借金をすることにもなる。嵐山町は日

学生に返済不要の給付金を

答 奨学金を拡充するため給付金は考えていない

本一の教育の町を標榜している。しかし具体的に何もない。そこで本町は一人もやめさせないため返済不要の給付金を支給するという日本一をつくったかどうか。

再答 町長 100年には学生を救うため努力している。町はそれを見守っているので返済不要の給付金の考えはない。

マスク着用による熱中症対策は

問 夏場のマスク着用は熱中症の危険がある。対策は。

答 健康いきいき課長 政府は熱中症予防

二瀬橋の河原に多くの観光客が来ていた

問 5月の連休中、二瀬橋の河原に観光客が何台ものクルマで来て食事などをしてきた。散歩をしていた方は感染を警戒し散歩をやめたという。町はどのような対応をしたのか。

再問 県土整備事務所に連絡し対応を依頼した。依頼後も多くの観光客が来ていた。

再答 対策を取っていないから。バリエードと看板が設置してあった。



バリエードを設置というが、片手で移動できる簡易なもの。そのため多くの車が河川内に入っていた=R2.5.5